

平成 30 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 ク ル ー ズ 株 式 会 社  
(コード番号 2138 : 東証 JASDAQ スタンダード)  
所 在 地 東 京 都 港 区 六 本 木 六 丁 目 10 番 1 号  
六 本 木 ヒ ル ズ 森 タ ワ ー  
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 小 瀧 宏 二  
問 合 せ 先 経 営 戦 略 本 部 担 当 取 締 役 稲 垣 佑 介  
電 話 番 号 (03) 5786-7080

## 平成 30 年 3 月期 通期連結業績と前期実績の差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期連結業績と前期実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較になっております。

### 記

#### 1. 開示を要する差異が生じた理由

売上高に関しては、インターネットコンテンツ事業（ゲーム事業）の大半を譲渡したため前期比で 10.6%の差異が生じましたが、メイン事業の SHOPLIST 事業は前期比で 12.6%の増収と引き続き成長しております。

また、営業利益に関して生じた前期比で約 13 億円の差異の主因は、インターネットコンテンツ事業（ゲーム事業）を譲渡したことによる約 6 億円の差異及び、その他新規事業への約 6.7 億円の積極投資、また新規ゲーム開発へ約 2 億円の投資を行ったことによるものです。一方で、メイン事業の SHOPLIST 事業の営業利益は、前期比で約 2 億円の増益となっております。営業利益が大きく減少したように見えますが、事業の収益力は前期から水準を維持しております。前期の営業利益実績から事業譲渡による影響分約 6 億円を除外した営業利益は約 15 億円であり、対して当期、仮に前述した新規投資を行わなかったとした場合、当期営業利益実績約 7.2 億円に、新規事業及び新規ゲーム開発投資の合計約 8.7 億円が合算されることとなり、当期営業利益は約 16 億円の計算となります。従いまして、前期と比較して事業のベースの収益力は、維持しております。また、経常利益の差異についても、営業利益と同様の要因によるものです。

なお、親会社に帰属する当期純利益に関しては、前期は事業譲渡による特別利益の計上という特殊要因があったこと、並びに事業譲渡と新規事業への積極投資により発生した営業利益の差異、また当初見込と比較し収益見込の低下した一部の新規事業に関わる減損損失を計上したことによります。

#### 2. 平成 30 年 3 月期（通期）連結業績と前期実績値の差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前期実績値 (A) (平成 29 年 3 月期)	百万円 28,500	百万円 2,105	百万円 2,122	百万円 3,230	円 銭 269.05
当期実績値 (B) (平成 30 年 3 月期)	25,486	725	702	105	8.78
増減額 (B-A)	△3,014	△1,380	△1,420	△3,125	△260.27
増減率 (%)	△10.6	△65.5	△66.9	△96.7	△96.7

以 上